



いじめとは何ですか？

いじめには、以下3つの特徴が見られます：

- 人間関係における力の乱用を伴う
- 継続的、かつ繰り返し行われる
- 相手を傷つけるような行動を伴う

いじめは、オンライン環境の中で発生する場合もあります。こうした、インターネットや携帯電話などのテクノロジーを介して行われるいじめ行為は、ネットいじめ (cyberbullying) と呼ばれています。ネットいじめには、侮辱的なテキストやメールを送ったり、特定の人を傷つけるようなメッセージを掲載したり、他人の写真に不適切なコメントを加えたりすることも含まれます。

NSW州公立学校では、いかなる理由があろうとも、いかなる種類のいじめも容認されるものではありません。学校は、保護者の皆さま、職員、児童生徒と協力していじめの防止に努め、いじめがあった場合は、迅速かつ適切に対応することをお約束します。

児童生徒がいじめにあった場合、保護者はどう対応すれば良いのでしょうか？

まずは冷静にお子さまの話に耳を傾け、詳細を理解することに努めましょう

お子さまにとって、自分の話がしっかり聞いてもらえたと納得することは非常に大切です。児童生徒本人の気持ちは重要であり、かれらの懸念は真剣に受け止めてあげる必要があります。いったい何が起こったのか詳細まで話すよう促し、励ましてあげましょう。いじめについて話したり届け出たりすることは、決して悪いことや恥ずかしいことではないということをお子さまに説明してあげてください。

お子さまの話をもっとお聞きした後、必要であれば「誰が」・「何を」・「どこで」・「いつ」などの質問を行い、具体的な詳細を確認しましょう。

お子さまには、いじめが起こったのは決して自分のせいではないということを説明してあげましょう

子どもたちは、いじめの原因は自分にあると思ひ込み、ますます精神的に思いつめてしまう場合があります。「それは本当にたいへんだね」、「話してくれてありがとう」、「学校は安心して勉強できるところでなければいけないね」など、少しでも心の支えになるような言葉をかけてあげてください。

お子さまは何をどうしたいと思っているのか、また保護者であるあなたに何をしてほしいのか、具体的な希望を聞いてみましょう

できれば、お子さまが自分自身で解決方法を見つけれられるよう助けてあげましょう。児童生徒が自分の力で少しでも状況を改善できると感じることはたいへん重要です。

お子さまが差し迫った危険にさらされている訳ではなく、本人に意欲と自信がある場合は以下の対策を試してみることもできます：

- 相手の言うことを無視する
- その場から立ち去る
- あえて興味を示さず、関心がないようにふるまう
- 状況に応じて「ノー！」または「ジャスト・ストップ！」などの言葉を用いて、毅然とした態度を示す

もし学校でいじめが行われている場合は、教師に相談することの正当性を知らせてお子さまを支えてあげましょう。お子さまが学校関係者以外との相談を希望している場合、または外部の専門家による追加支援も必要と思われる場合は、キッズヘルプライン (Kids Helpline) のウェブサイトの閲覧を勧めてあげてください。また同支援には無料の電話番号 (1800 55 1800) にて直接ご相談いただくこともできます。

学校にはいつ連絡すべきでしょうか？

児童生徒は、保護者がいじめについて学校職員と相談することに乗り気でない場合があります。こうした場合はお子さまと話し合い、学校はいじめについて把握することで状況の改善に貢献できるということを分らせてあげましょう。

必要であれば、担任の教師との面談をご予約ください。またご希望であれば、学校長との面談もご依頼いただけます。

お子さまの安全についてご懸念をお持ちの場合は、早急に学校までご連絡ください。

保護者の方々への支援

Kids Helplineには、保護者の方々を対象とした相談窓口「ペアレント・ライン」も設置されています。同ヘルプラインでは、0歳から18歳までのお子さまをお持ちの保護者の方々に対して、専門のチームが各種支援および情報、カウンセリング等を提供しています。この相談窓口 (Tel: 1300 1300 52) は9amから9pmまで (月～金) および4pmから9pmまで (土・日) 市内通話料金でご利用いただけます。

電話通訳サービス

学校またはペアレント・ラインNSW (Parent Line NSW) へのご連絡の際に通訳をご希望の方は、電話通訳サービス (Tel: 131 450) をご利用ください。オペレーターが電話に出たら、ご希望の言語 (ジャパニーズ) と相手先電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。